

「ヒマラヤに響く チベットの歌声」

次第

- 13:30 開演 司会者 挨拶
- 13:35 茅ヶ崎市男女共同参画課課長 千木良 均氏 挨拶
- 13:40 出演者紹介 畠中 恵子氏
- 13:45 映画「ヒマラヤを越える子どもたち」
- 14:15 講演「チベットの文化について」
講師 リンジン・ギャリ・野口
- 質疑応答 14:45～15:15
- 休憩 15:15～15:25 —
- 15:30 **うた** ソナム・ギャルモ
タブラ伴奏 福村 桃子
- 16:00 閉会 IAC理事長 石井 武雄 挨拶

平成25年11月2日

茅ヶ崎市文化生涯学習部男女共同参画課
茅ヶ崎市国際交流協会国際理解グループ

出演者紹介

リンジン・ギャリ・野口



チベット、カム地方領主の娘として生まれる。

1959年 法王ダライ・ラマがインドへ亡命した後を追い、家族でインドへ亡命。

インドで教育を受け、日本来日24年目、二児の母。

チベット文化研究所・和光大学・拓殖大学・フェリス女子大にて、チベット中心にヒマラヤ文化、チベット語の講師として活躍。

チベット文化研究所 教育福祉基金 (NPO) 理事。

ソナム・ギャルモ



チベット亡命政府のあるインド・ダラムサラの近郊のビール村に生まれる。

幼少の頃より祖母に口伝えでチベットの古くから唄いつがれてきた歌を教わる。

2003年留学生として来日。高校、短大と進み、現在は会社員をしながら平和と自由を願うチベットの人々を応援すべく、素朴で力強い歌声と共にチベット民族の心を伝え広めている。